

2026年9月11日

ペプチドリーム株式会社
<https://www.peptidream.com/>
(証券コード：4587 東証プライム市場)

「サステナビリティ インパクト レポート 2026」を公開

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長 CEO：リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、以下「当社」）は、「サステナビリティ インパクト レポート 2026」（日本語版・英語版）を発行し、当社ウェブサイトにて公開いたしました。



本レポートは、当社のサステナビリティに関する基本方針や活動内容等をステークホルダーの皆様に対して報告し、当社への理解を一層深めて頂くことを目的としております。2026年版では、「新たなリーダーシップ体制の導入による経営ガバナンスの強化」や「2030年に向けた

グループ水使用量削減目標を設定」などをはじめ、ESG（環境、社会、ガバナンス）の3つの観点からさまざまな活動を報告しています。

当社は2026年に設立20周年を迎えました。2006年の創業以来「医療のあり方や患者さんの人生に変革をもたらす次世代医薬品の創出」というミッションの実現を目指し、歩み続けてきました。今後も、このミッションの実現に向けてステークホルダーの皆様への情報開示、コミュニケーションの充実を図りつつ、サステナビリティに関する取り組みを推進してまいります。

■「サステナビリティ インパクト レポート2026」は以下よりご覧いただけます

https://www.peptidream.com/docs/ESG_report_2026_ja.pdf

ペプチドリームについて

ペプチドリーム株式会社（東証プライム市場 証券コード 4587）は、環状ペプチドから新たな革新的医薬品を産み出すことで、アンメット・メディカル・ニーズに応え、世界中の人々の生活の質を向上させることを目指しています。放射性医薬品（RI）領域において、完全子会社であるPDRファーマを通じて日本で放射性医薬品の販売を行っています。また、独自の創薬開発プラットフォームであるPDPS (Peptide Discovery Platform System)技術を活用し、革新的な放射性治療薬や放射性診断薬を創製し、自社または提携プログラムとして開発しています。Non-RI 領域においては、PDPS を活用したペプチド医薬品、ペプチド-薬物複合体（PDC）および多機能ペプチド複合体（MPC）による治療薬・診断薬への展開を共同研究開発パートナーによる広範囲なグローバル・ネットワークを構築し、幅広く進めております。ペプチドリームの本社の所在地は川崎市です。当社や当社技術、パイプラインについての詳細については、<https://www.peptidream.com>をご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ペプチドリーム IR 広報 沖本

TEL : 044-223-6612

Email : info@peptidream.com

ウェブサイト : <https://www.peptidream.com/>

X: https://x.com/PeptiDream_Inc